



# 市議会だより

**特集** 市制施行70周年記念  
～開かれた議会を目指して～

- 宇治市議会20年のあゆみ
- 議員からのメッセージ



vol.160

2021.3.1

発行/宇治市議会

〒611-8501 京都府宇治市宇治琵琶33番地

TEL.0774-20-8747 (直)

編集/広報委員会

## contents

02◆11月臨時会・12月定例会の概要

- ◆新型コロナ対策に関する補正予算の主な概要
- ◆提出された請願
- ◆読者アンケート

03◆11月臨時会・12月定例会の議決結果

04◆常任委員会の報告

08◆一般質問

13◆一般質問

- ◆議会の動画配信中、ホームページからの閲覧方法
- ◆新型コロナウイルス対策に取り組んでいます

14◆議事内容(抜粋)

15◆令和元年度 決算審査報告

- ◆決算特別委員会における討論

16◆市制施行70周年記念特集

- 宇治市議会20年のあゆみ
- 議員からのメッセージ

20◆公平委員会委員の選任に同意

- ◆自治功労者の推薦を承認
- ◆傍聴に関するご協力をお願い
- ◆次回定例会のお知らせ

# ワクチン接種体制確保、PCR検査費用負担事業者への支援など 新たな新型コロナ対策補正予算 **可決**

## 令和2年 11月臨時会・ 12月定例会 の概要

11月26日に11月臨時会が開かれ、市から提出された「宇治市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて」をはじめとする3議案が可決されました。

12月定例会は12月28日から1月27日までの31日間の会期で開かれ、市から提出された「専決処分の承認（令和2年度宇治市一般会計補正予算（第10号）」をはじめとする18議案が可決（認定・承認・同意）されました（3ページに議決結果を掲載）。

市政に関する一般質問は、1月12日、13日、14日の3日間にわたり、11人の議員が個人質問を行いました（8～13ページに掲載）。

## 新型コロナ対策に関する補正予算の主な概要

（詳細は14ページ）

1月13日 緊急事態宣言発令（京都府）  
（1月14日～3月7日）2月15日時点

12月14日専決

12月定例会（12月28日～1月27日）

1月27日承認

令和2年度一般会計  
補正予算（10号）

1億600万円

- ひとり親家庭臨時特別給付金給付事業費

令和2年度一般会計補正予算  
（11号）

1億850万円

主な概要

- 入所施設等感染防止対策支援事業費
- のりあい交通事業緊急支援補助金 など

令和2年度一般会計補正予算  
（13号）

8545万5000円

主な概要

- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費
- 緊急事態措置協力金負担金

## 提出された請願

今定例会に提出された請願を所管の常任委員会で審査し、本会議最終日に次のとおり決定しました。

- ◆教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

（請願者）学校教育の充実を求める会  
代表 吉田 省二 氏

◎賛成少数で不採択

3月1日号の読者アンケート  
（市議会ホームページからも回答できます）

アンケートQRコード



ご意見・ご感想を  
お寄せください



## 11月臨時会 議決結果

### ◆すべての会派が賛成した議案

議 事 内 容 (注2)		
議 案	市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正(注3)	特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正(注3)
	市職員の給与に関する条例の一部改正(注3)	

## 12月定例会 議決結果

### ◆すべての会派が賛成した議案

議 事 内 容 (注2)		
議 案	令和元年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>	令和元年度墓地公園事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>
	令和元年度水道事業会計決算認定<決算特別>	令和元年度公共下水道事業会計決算認定<決算特別>
	専決処分の承認 (=令和2年度一般会計補正予算(第10号))	令和2年度一般会計補正予算(第11号)
	令和2年度一般会計補正予算(第12号)	火災予防条例の一部改正<総務>
	自転車等駐車場条例の一部改正<建設水道>	市道路線の認定<建設水道>
	近鉄伊勢田駅前自転車等駐車場の管理に係る指定管理者の指定<建設水道>	令和2年度一般会計補正予算(第13号)
	公平委員会委員の選任同意	自治功労者の推薦承認

### ◆会派で賛否が分かれた議案

○印=賛成, ×印=反対

議 事 内 容 (注2)	議決結果	会 派 名					無会派1	無会派2
		未来	共産	自民	公明	維・宇		
令和元年度一般会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○	×	○	○	○	○	○
令和元年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○	×	○	○	○	○	○
令和元年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定<決算特別>	認定	○	×	○	○	○	○	○
専決処分の承認(=控訴の提起)<建設水道>	承認	○	×	○	○	○	○	○
教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願<文教福祉>	不採択	×	○	×	×	×	×	○
新型コロナ禍の全国民を支援するために、消費税を5%に戻すことを求める意見書	否決	×	○	×	×	×	×	○
憲法違反の日本学術会議会員任命拒否をただすことを求める意見書	否決	×	○	×	×	×	○	○

(注1) 議長のため表決に加っていません。

(注2) 議事内容は省略・わかりやすく変更して記載している場合があります。 議案の後ろの< >内は審査した委員会名、ないものは本会議直接審議。

(注3) うじ未来会派議員1名欠席

※ 議事内容(抜粋)は14ページに掲載しています。

# 常任委員会の報告

## 総務

### 11月 宇治市第4次防犯推進計画 17日 (初案)を報告

審査  
項目

●報告 宇治市第4次防犯推進計画  
(初案)について

#### 市の説明

防犯推進計画は、平成16年に施行された安全・安心まちづくり条例に基づき平成18年度に策定したが、以後5年ごとに内容の見直しを図りながら改定を重ねており、このたび令和3年度からの5カ年を計画期間とする第4次防犯推進計画を策定する。

次期計画は、新たに再犯の防止等の推進に関する法律に定める地方再犯防止推進計画としても位置づけるものであり、安全で市民が安心して生活できるまちづくりの推進、再犯防止施策の推進、犯罪被害者等に対する支援の3点に取り組むことで、地域防犯力の維持・継続と、誰一人取り残さない社会の実現を推進するものである。この初案をもとにパブリックコメントを実施する。

#### 委員からの質疑

- 計画策定に当たり、関係団体のさまざまな意見は反映しているのか。また計画策定のどの段階で参加されているのか
- 近年、性犯罪は年齢を問わず顔見知りや知人から受けることが指摘されている。クローズな場所で行われるため、見守りで防ぐのは非常に難しいが、犯罪被害者に対する支援への考えは
- 今日まで使命感で活動してこられた青色防犯パトロール地域ボランティアや安全管理団体に、資金的な援助や資機材の提供が必要では
- 掃除しながら、犬の散歩しながら、通勤・通学の帰り道で防犯をしていく「ながら」防犯は、子ども目線でも見分けられるよう工夫を
- 家庭内で子どもが被害者や加害者になることもあるが、本計画に対策を入れるのか
- 再犯防止は仕事と住宅を確保することが重要だ。事業主が協力雇用主になったときのメリット・デメリットを周知するため、保護観察所の人に来てもらうなどが必要では

### 1月 火災予防条例の一部を改正する 18日 条例案を審査

審査  
項目

●議案第3号 火災予防条例の一部を改正する条例を制定する  
について

#### 市の説明

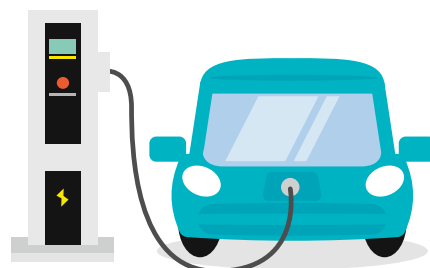
これまで電気自動車に充電するための急速充電設備は全出力50キロワットを超えれば変電設備の規制対象とされていたため、電気自動車等の運転手が充電できないなど使用実態と合わなかった。各市町村で特例基準を設けることで設置を認めてはいたが、地域によって規制の取扱いが異なり、不都合が生じている状態であったため、対象火気設備等の位置、構造及び管理並びに対象火気器具等の取扱いに関する条例の制定に関する基準を定める省令及び火災予防条例(例)が改正されたことを受けて、火災予防条例の一部の改正を行う。

#### 委員からの質疑

- 急速充電設備の基準が200キロワットまで拡大されると、4月1日以降、市内で検査対象になるものが何カ所、何台になる見通しなのか
- 今後、急速充電設備が普及していく中で、その点検において専門の保安協会と消防部局で連携を図っていくのか
- 家庭用電気自動車の急速充電設備で火災が起こった実例は把握しているのか
- 50キロワットを超える急速充電設備は、今後届け出が必要になるのか

#### 採決

全委員の賛成で可決すべきものと決した。



## 文教福祉

### 1月19日 教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める 請願を審査

審査  
項目

●請願第2-4号 教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願

#### 請願趣旨説明

すべての子どもたちに豊かな教育を保障するためには、教育条件の向上は切実な要求である。新型コロナウイルス感染拡大で3月から5月まで休校措置がとられ、6月に再開してからは、子どもたちは消毒や検温、手洗いの徹底などの感染症予防対策をとりながら学校生活を送っている。また、多くの行事や学習活動が制限される中、休校措置の遅れを取り戻すための密な学習は子どもたちに大きな負担を与えている。

「児童・生徒一人一人に寄り添うこと」、「個に応じたきめ細かな学習指導」、「感染拡大防止」の観点から、以下の2点を要望する。

1. 国や府に対して、安心・安全な少人数学級を早期に実現するように求めること
2. 宇治市小中学校において、すみやかに1学級35人以下を実現すること

#### 市当局の発言

国は来年度2年生で35人学級を実施し、それ以降1学年ずつ順に移行させていくとしている。市において来年度一律に全て少人数学級とした場合には、これまでのように少人数指導加配教員を配置することができなくなることが想定されるため、今年度と同様、少人数学級や少人数授業等の活用方法を決めていく。

#### 委員からの質疑

- 加配の先生を少人数学級に充てるのではなく、担任の先生を増やすよう国や府に求めていくべきでは
- 国は2025年までに少人数学級を進める方針を出した。本市はどのように対応していくのか
- 一律で全体的に速やかに少人数学級にすると、各学校で取り組んでいる少人数指導はできなくなるのか
- 加配教員を配置する基準や考え方は
- すでに35人編制としている2年生が3年生になっても引き続き35人編制でいけるよう宇治市独自でやるべきでは

#### 採決

自民党議員団委員の反対討論と共産党議員団委員の賛成討論の後、採決が行われ、6名中反対4名で不採択すべきものと決した。

### 1月19日 新型コロナワクチン接種体制 確保事業を報告

コロナ  
対策  
関連

審査  
項目

●報告 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業について

#### 市の説明

新型コロナワクチンが実用化された際に、迅速に多くの市民へのワクチン接種を可能にするための体制を確保する。実施手法は、府や医師会等と調整して決定する予定としており、事業費は国費である。事業概要は次のとおりである。

#### 事業内容

- ①接種券送付に係る印刷、封入・封緘及び発送
- ②コールセンターの設置及び運営
- ③予防接種台帳システムの改修
- ④必要物資の購入

#### スケジュール (厚生労働省からの通知内容に基づく)

- ①システム改修 2月末まで

- ②接種券の印刷及び発送 3月中旬頃(高齢者分)
- ③コールセンターの設置 3月中旬頃
- ④高齢者向け優先接種 3月下旬

自己負担額 無料

- 接種順位
- ①医療従事者
  - ②高齢者
  - ③基礎疾患を有する者及び高齢者施設等の従事者
  - ④その他の者

<資料より一部抜粋>

#### 委員からの質疑

- 市はワクチン接種の概要や安全・安心だという広報を出すのか
- 施設入所者や寝たきりで外出や移動が困難な人には、どういう形で接種するのか
- 市役所の人員体制は
- 事務作業は、委託ではなく全て市で行うのか
- 高齢者とは何歳以上で、何人いるのか。集団接種実施方法はどんなイメージになるのか

## 市民環境

### 1月20日 中小企業等感染防止対策強化支援補助金事業を報告



審査項目

●報告 中小企業等感染防止対策強化支援補助金事業について

#### 市の説明

市内の中小企業、小規模事業者が実施する新型コロナウイルス感染症への対策強化や業務改善、売上げ向上の取組を支援するため、中小企業等感染防止対策強化支援補助金の申請受付を開始した。事業概要は次のとおりである。

実施主体	宇治商工会議所
対象者	中小企業・小規模事業者
補助率	3分の2
補助上限	10万円
補助対象期間	令和2年12月1日(週及適用)～令和3年3月15日
申請期間	令和3年1月15日～3月16日

対象事業 冬場の感染症対策として実施する換気設備、暖房設備の設置等をはじめとする、今後の感染症対策にもつながる取組等

対象者 市内に主たる事業所等を有する事業者

申請方法 宇治商工会議所に郵送または持参

その他要件 減収要件なし

消耗品(マスク、消毒液等)は対象外  
<資料より一部抜粋>

#### 委員からの質疑

- 販路開拓も補助対象になっている。昨年は府や市の補助を活用して、さまざまな市内事業者がテイクアウト事業を実施していたが、今回、新たにピラを作成する場合でも使えるのか
- 商工会議所の会員と非会員では、情報量が違ってくる。個人店では商工会議所の会員が少なく、ホームページやフェイスブックなどが苦手な人もいるが、ほかの周知方法は

### 1月20日 京都府緊急事態措置協力金負担金を報告



審査項目

●報告 京都府緊急事態措置協力金負担金について

#### 市の説明

営業時間の短縮等が要請されたことに伴い、時短要請に協力した企業等に対し、京都府緊急事態措置協力金を府が支給する。事業概要、市の負担金予算は次のとおりである。

主な対象施設	飲食店(居酒屋を含む)、喫茶店等及びバー、カラオケボックス等で飲食店営業許可を受けている遊興施設
時短要請期間(2月15日時点)	令和3年1月14日～2月7日 ※時短営業の協力開始日から2月7日午後12時までの全ての営業日において(定休日等の店休日は除く)、連続して時短要請に応じた場合に、日割りで支給
時短要請内容	午前5時から午後8時までの営業要請 ※酒類の提供は午前11時～午後7時まで
支給額	1施設(店舗)につき、 時短営業した日数×6万円 ※定休日等の店休日は、協力金の対象外
受付開始時期	府において2月8日以降に開始予定

留意点 1月18日以降、時短要請対象事業所を対象に、府等による夜間巡回調査が行われる予定

市負担金予算額 6500万円

#### 内訳

協力金分  $4000円 \times 25日間 \times 626施設(*) = 6260万円$   
※H28経済センサスより

事務費分 240万円

※1施設(店舗)当たり6万円/日の負担内訳

①8割	国負担=4万8000円
②2割×3分の2	府負担=8000円
③2割×3分の1	市負担=4000円

#### 委員からの質疑

- 6万円では厳しい店もあると思うが、市は把握しているのか。また、独自で追加補償はないのか
- 遅くとも1月18日から開始することとあるが、18日から閉めていないと補助は受けられないのか
- 時短要請をしていない市が、なぜ財政負担をしなければならないのか。国が責任を持つべき
- 要請期間中に休まれる店は対象となるのか



## 建設水道

### 11月 16日 空き家再生・利活用コンペの結果を報告

審査項目

●報告 宇治市空き家再生・利活用コンペの結果について

#### 市の説明

空き家を再生・利活用することで地域の活性化につながる先駆的なアイデアを募集し、最も優れた提案1件に対し物件改修費用の一部を補助するもので、1件の応募があり、宇治市空き家再生・利活用事業者選定委員会で審査した。地域の課題や状況に対して取り組もうとする内容が明確で、申請団体や協力団体等も市内を含めた活動実績が豊富であり、連携や周辺地域の活性化が期待できると評価し、宇治観光まちづくり株式会社を補助対象事業者として妥当とし、補助金上限額である300万円を交付する。

補助対象となる提案内容は、まちづくりに関わる団体等が連携し、中宇治地域が抱える問題を解決するため、地域交流拠点としての機能やまちづくりに関するコンサルティング機能等を有したまちづくりセンターを整備する中宇治地域まちづくりエリアプラットフォーム整備事業で、補助対象となる空き家は木造2階建てで、延べ床面積187.7平米、所在地は宇治市宇治妙楽22-2である。

#### 委員からの質疑

- この事業では具体的にどのような活動がなされるのか。また、コンペに応募する人にとってのメリットは
- 初めての空き家の利活用事業、モデルケースになって欲しい。今回実施したコンペにどのような期待があるのか
- 今後も引き続きコンペを実施するのか
- 空き家登録制度などの今後の見通しは

### 11月 16日 (仮称)お茶と宇治のまち交流館の「ロゴデザイン」及び「オリジナルフォント」の承諾を報告

審査項目

●報告 (仮称)お茶と宇治のまち交流館の「ロゴデザイン」及び「オリジナルフォント」について

#### 市の説明

(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園整備運営事業の事業者である株式会社宇治まちづくり創生ネットワークから提案された(仮称)お茶と宇治のまち交流館のロゴデザイン及びオリジナルフォントを本市が承諾した。

ロゴデザインは、お茶を連想させる急須と、その中に一本の綱を四つ葉型に結び縁起のよいデザインとすることで幻想的なお茶へのイメージにつなげるとともに、若者世代からなじみが薄くなってきた急須をあえて使用し、愛着を持ってほしいという思いを、全体的に柔らかくシンプルかつ印象的なイメージでまとめた。

オリジナルフォントは、全て同じ大きさの線幅で統一し、直線ながらも優しい印象にまとめ、文字全体で建物をイメージするよう、全ての文字をつなげたデザインとした。

作成は、第14代宇治市観光大使で武人画を初め、

ロゴデザイン、オリジナルフォントの作成に実績があり、また本市においてもライブアートイベント等の実績があるこうじょう雅之氏に事業者が依頼した。今後は、本ロゴデザイン及びオリジナルフォントをさまざまな場所で使用し、歴史公園のPRにつながるよう取り組んでいく。

#### 委員からの質疑

- 施設の愛称「茶づな」は公募したが、今回はなかったのはなぜか
- ロゴデザインとオリジナルフォントはいつ頃から使用するのか
- 知的財産所有権はどこに属するのか
- 茶づなの「づ」は、アルファベット表記にすると「DU」になるのでは。「ZU」でいいのか



ロゴデザイン



オリジナルフォント

# 一般質問

## 公明党議員団

とり い すすむ  
**鳥居 進** 議員



### 府のコロナ対策を牽引してきた松村市長、本市での対策は

**答弁** これまでの経験や実績を生かし、対策に取り組む

**問** 市長は、府の健康福祉部長として新型コロナウイルスの感染対応を牽引してきたが、本市における当面の感染拡大の防止並びに予防への考えは。

**答【市長】** 感染状況や経済活動の状況を注視した上で、これまでの経験や実績を十分生かし、国や府、関係機関などとも連携を十分に図りながら、医療、介護、保育などの福祉、教育等の現場への感染拡大防止対策を行う。また、産業、観光、文化、スポーツなどの事業活動がウィズコロナ、ポストコロナ社会においても継続できるよう、新型コロナウイルス感染症対策に全力で取り組んでいきたい。

## 無会派

あさ い あつ のり  
**浅井 厚徳** 議員



### 目指すべき市長像は

**答弁** 市民とともに着実に歩み、重責を果たす

**問** 市議会議員に初めて当選させていただいてから、5人の市長と議会で議論を重ねてきた。今回の市長選挙を通じて、これまでの市長には感じ取れなかった新鮮さを感じており、多くの市民も期待感を持っている。新市長として、どのような市長像を思い描いているのか、目指すべき市長像は。

**答【市長】** 議会をはじめ、市民や関係団体の意見を聞き、その上でまち全体を見据え、必要な対応を判断し、説明責任を果たしながら、着実に1つずつ実行する自治体の長でありたいと考えている。50年、100年先を見据え、新たなふるさと宇治の創造に向けて、時

### 脱ハンコ、電子決裁で業務の効率化を

**答弁** 押印の取扱いや電子決裁導入等の検討を進めていきたい

**問** 国が業務改善を含めた効率化のためデジタル化の推進を図っており、その取っかかりとして、脱ハンコなどの方策を打ち出している。対外的な決裁等は一定ハンコも必要だと感じるが、内部処理は脱ハンコや電子決裁ができるのではないかと考える。既に多くの自治体でも実施しているが、本市の見解は。

**答【総務部長】** ウィズコロナ、ポストコロナ社会に対応するためのテレワークや業務の効率化の観点から、職員の押印を見直すことが考えられる。代替手段としては電子決裁システムの整備等が挙げられ、これらの導入による効果として、自動回覧、督促機能により、起案者が持ち回る必要がなく、決裁者も自分のタイミングで決裁ができるほか、決裁文書の保存、検索が容易に行えるなど、業務の効率化が図れるものと認識しており、本市においても押印の取扱いや電子決裁の導入等について検討を進めていきたい。

には厳しい判断も必要となるが、市民とともに一歩ずつ着実に歩み、市長としての重責を果たしていきたい。

### 市独自のPCR検査体制の構築を

**答弁** 慎重な検討が必要である

**問** 感染が拡大する中、基礎疾患のある高齢者や福祉施設、学校、保育所等で不安が大きく、定期的なPCR検査を実施して欲しいという声が出ている。感染者と似た症状が現れたり、無症状だが感染しているかもしれないという不安を抱いたときに、市独自のPCR検査を受けることができる体制を構築できないか。

**答【健康長寿部長】** 他の自治体で定期的な検査も含めた検査体制を構築されていることは把握している。しかし、定期的な検査は、検査時点の感染の有無は分かるが、感染していない安心を得るためには高頻度で検査を受け続ける必要があり、費用対効果の観点からも慎重な検討が必要である。今後も、PCR検査も含めて感染拡大防止のための取組を行い、必要な対応を検討していく。



## 自民党議員団

なか むら まい こ  
**中村 麻伊子** 議員



### 産後2週間健診実施に向けた課題は

**答弁** 医師会や市外の医療機関との連携・調整が必要だ

**問** コロナ禍により妊産婦は孤独の中で出産、育児を行っている。本市より以北のほとんどの地域では産後2週間健診に対する補助があり、この健診で産後鬱になりにくいという統計もある。産後2週間健診の効果をどう考え、本市での実施に向けた課題への認識は。

**答【市長】** 児童虐待防止の観点からも有効であり、本市が実施している妊婦面談や新生児訪問などと連携し、支援につなげる仕組みづくりが重要となる。6割の人が里帰り出産や市外の医療機関で出産することから、医師会や市外の医療機関との連携・調整も必要となる。妊産婦の身体的回復や心的な安定を促し、母子の愛着

形成につながる妊産婦健診事業をできる限り早期に当初予算の計上を視野に入れて検討していく。

### 広域的連携で魅力ある地域づくりを

**答弁** 広域連携に向け、自ら国や府へ要望を行う

**問** 高齢化や人口低密度化による行政コストが増加する中で、限りある資源を活用しながら、自治体の使命である行政サービスの提供を維持するとともに、地域経済の活性化による魅力ある地域づくりを行う上で、国・府・近隣市町村との広域的連携は有効な手段と考える。今後、どのような手法で実施していくのか。

**答【市長】** 厳しい財政状況下では、国や府の財源を活用した先駆的、積極的な施策を実施するとともに、近隣自治体との広域連携による行政運営が今まで以上に必要になってくる。広域連携に向けてはさまざまな調整が必要となることから、私自ら国や府へ要望を行うこと、また、近隣自治体の首長との意見交換、事務レベルの調整を重ねる中で、効果的・効率的な行政運営とともに、質の高い行政サービスの提供に努めていく。

## 共産党議員団

さか もと ゆう こ  
**坂本 優子** 議員



### 50年・100年先の宇治市の創造とは

**答弁** 将来の礎になるまちづくりに取り組む

**問** 本市は1951年、宇治町・榎島村・小倉村・大久保村・東宇治町が合併して誕生し、勤労者の住宅地として発展してきた。人口は現在18万5千人。これが宇治の土台だが、市長が考える「50年、100年先を見据えた新たな宇治の創造」とはどういう構想か。

**答【市長】** まちづくりは、都市基盤整備や公共施設の最適化、地域コミュニティーなど、長期的な取組で実現するものとする。目の前の課題のみにとらわれず、将来の礎になるまちづくりに取り組んでいく。

**問** 人口減少と過疎化が進む中、本市の耕作地、農家は10年で約6割減少し、農業、林業の衰退は深刻な状

況になっている。50年待たずに耕作する人はいなくなり、荒れた農地が点在するだけになるのではと危惧する。市長が公約に掲げる宇治茶、京野菜の生産振興だけではなく、農業の土台部分の支援をして欲しい。

### 府道向島宇治線の付け替え道路、交通渋滞解消の対策を

**答弁** 引き続き府と連携していく

**問** 府道向島宇治線の付け替え工事で昨年10月5日から暫定道路の供用が開始され、同時にJR奈良線第2期工事による宇治街道踏切が閉鎖された。宇治橋の西行き、JR宇治駅から東方面、宇治武田病院から府道に至る道路など深刻な交通渋滞が発生している。府が行った交通量調査の結果はどうだったのか。

**答【副市長】** 現在、集計及び解析の作業中である。

**問** 市民から、以前は10分で帰宅できたのに、今では30分かかると、悲鳴が上がっている。市は府にどういった対策を求めていくのか。

**答【副市長】** 本市にも市民から意見や要望が届いている。引き続き府と連携を図っていく。

# 一般質問

## 無党派

さ さ き ま ゆ み  
**佐々木 真由美** 議員



### コロナ禍、少人数学級の早期実現を

**答弁** 学校長への十分なヒアリングを行った上で、加配教員の効果的な活用を図りたい

**問** 公立小学校の学級定員について、5年かけて全学年を35人にする国の方針が決まった。コロナ禍で児童の健康を守るためにも早期の実現を望む。現在、36人以上の学級はどれだけあり、その全てを35人以下とした場合、教室と教員の確保は可能か。

**答** 【**教育部長**】 令和2年5月1日現在で13学年、29学級で、教室は確保できる。教員は府教委から配当されている少人数指導等の加配教員を活用することとなり、現在のような少人数授業等を実施できない状況も想定されるため、児童の状況や学校経営の構想も含めた学校長への十分なヒアリングを行った上で、効果的

## うじ未来

は っ と り た だ し  
**服部 正** 議員



### 新名神高速道路全線開通、都市基盤整備にどう生かすのか

**答弁** 都市計画マスタープランを踏まえ、着実に進める

**問** 若い世代の人口流出が進んでいる状況では、子育て・教育・就労環境の整備などとともに、都市基盤整備をどう整えていくかは本市の大きな課題の一つだ。新名神高速道路の全線開通を控える中、それを生かした整備を考えるべきだが、市長の考えは。

**答** 【**市長**】 新名神高速道路の開通に伴う波及効果は、多岐に渡ることが想定され、定住人口の確保につながるよう、この機会を有効に生かすことが必要である。また、開通を踏まえた道路網の充実、広域的な観点で検討が必要であり、府や関係する市町とも意見交換を行う。現在改定を進める都市計画マスタープランで

な活用を図りたい。

### 全ての住民にデジタル化の恩恵が行き渡る支援を

**答弁** 誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化に努める

**問** コロナ禍を機に一気にリモート化が進み、オンライン会議やテレワークが日常となった。市の取組と今後の見通しは。

**答** 【**総務部長**】 包括連携協定を締結しているソフトバンクと連携を図り、ICT利活用推進検討会議の意見なども反映させながらさまざまな分野で取組を進め、市民サービスの向上、業務の効率化を図ってきた。今後は国が示す行政のICT化の方向性を踏まえながら、ICT利活用推進指針を策定する予定である。

**問** デジタル化の進展でメリットがもたらされる一方でデジタル機器へのなじみが薄い高齢者が取り残されてしまう懸念がある。ITリテラシーの差で公平性が損なわれることがないように支援すべきだが、市の考えは。

**答** 【**同部長**】 ICTの利活用を積極的に推進する中で、メリットが市民に分け隔てなく広く行き渡るよう、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化に努める。

は、都市計画審議会の意見も踏まえ、持続的に発展するまちを目指し、都市基盤整備を着実に進めていく。

### 観光客のエリア集中にどう取り組むのか

**答弁** 広域的な周遊観光の仕掛けづくりの検討等を進める

**問** コロナ禍やアフターコロナ、ポストコロナの状況下での観光における経済の立て直しをどう図るのか。

**答** 【**産業地域振興部長**】 感染拡大防止対策を十分に講じる中、イベントと共に、観光PR動画の作成など、情報発信にも鋭意取り組む。

**問** 観光客の滞在時間が平均約3時間であり市にお金が落ちないこと、また、目的が平等院に集中し、他のエリアに行く人が少ない課題に今後どう取り組むのか。

**答** 【**同部長**】 早朝・夜間の観光コンテンツや体験メニューの充実、体験観光につながる観光資源の検討などを進める。また、(仮称)お茶と宇治のまち歴史公園を、お茶の京都山城地域の出発点として、より広域的な周遊観光にいざなう施設として整備するほか、広域的な周遊観光の仕掛けづくりの検討等を進めている。